

〈事例報告7〉「テーマについて検討し、自分の考えを話そう」（国語総合）

1 実践にいたる背景

グローバル化する社会の中で、論理的に考えて自分の意見を分かりやすく話す力は大切である。生徒の実情としては、人前で話すことに慣れている者もいるが、自分の意見を分かりやすく伝えることに対する意識が希薄である。よって、この状況を打開するために、生徒が論理的に自分の意見を述べられるようにしたいと考え、本研究主題を設定した。

2 指導目標と評価

(1) 身に付けさせたい力（論理的思考に関わる目標）

自分の意見を論理的に話す力

(2) 関係する学習指導要領の指導事項

話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。（国語総合A(1)ア）

(3) 関係する論理的な思考の活動

規則、定義、条件等を理解し適用する。（①理解・適用）

(4) 評価規準

関心・意欲・態度	話す能力・聞く能力	知識・理解
話題についてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。	話題についてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べる。	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。

(5) 評価方法と評価基準表

ア 評価方法 記述の分析（ワークシート）、行動の観察（発表）

イ 「話す能力・聞く能力」の評価基準表

評価A	評価B	評価C
テーマについてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して分かりやすく意見を述べている。	テーマについてさまざまな角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べている。	テーマについてさまざまな角度から検討できていない。また、根拠を明確にして意見を述べることができない。
相手の意見を尊重し、批評的な態度で聞くことができる。	相手の意見を尊重して聞くことができる。	相手の意見を尊重して聞くことができない。

3 単元の指導計画

(1) 言語活動と教材

ア 言語活動

「羅生門」や芥川龍之介にまつわる課題について班で話し合い、意見を発表すること。

イ 教材

「羅生門」（芥川龍之介，東京書籍『国語総合現代文編』）

(2) 単元観・教材観

ア 単元観

他者にも理解できるように根拠を明らかにして説明することは、論理的な思考力を養うものだと考える。さまざまな情報を取捨選択し、客観的な根拠を挙げて、意見を述べさせたい。

イ 教材観

授業で学んだ内容を発展させるために、『今昔物語集』との違いによる作者の意図や相対化されて変化する下人の心についてさまざまな角度から検討させることのできる教材である。必要な知識や情報を収集して上手に活用し、各テーマと「羅生門」を結び付けて論じさせたい。

(3) 指導と評価の計画（配当時間 7 時間）

次／時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	◇評価規準，◆評価方法， *努力を要する状況と評価した生徒への支援の手だて
第1次 (5時間)	①新出語句などに気を付けながら本文を音読する。 ②「羅生門」を読み，内容を読み取る。	①語句の意味や読み方について指導する。 ②発問しながら，話の筋をまとめさせる。	◇知識・理解 ◆記述の確認（語句プリント） *他にも読めない漢字や意味が分からない語句があれば個別に調べておくよう指示する。 ◇関心・意欲・態度 ◆記述の確認（ノート） *発問内容が難しいようであれば周りの生徒と相談させる。
第2次 (1時間)	①ワークシートを基に班で発表原稿をまとめ，模造紙を使って発表時の補助資料をつくる。（35分） ②班内で発表のリハーサルを行う。（5分） ③班で振り返りをする。（5分）	①根拠を明確にして，論理的に意見を述べられるように構成させる。 ②発表後，質問をしたり，意見を交換させたり，練り直させる。 ③「リハーサル評価表」に振り返らせる。	◇話す能力・聞く能力 ◆記述の確認（ワークシート・発表原稿・模造紙） ◆行動（班の発表）の観察 *思うように書けない班にはまずは構成を立てさせる。 ◇関心・意欲・態度 ◆記述の分析（リハーサル評価表）

第3次 (1時間)	①班で発表する。(発表4分)	①意見が分かりやすく伝わるように発表させる。 意見が分かりやすかったか、「羅生門」と結び付けられているか等が、評価の基準となることを確認する。	◇話す能力・聞く能力 ◆行動の観察(班の発表)
	②振り返りをする。	②意欲的に取り組めたか等、「振り返りシート」に振り返らせる。	◇関心・意欲・態度 ◆記述の分析(振り返りシート)

4 学習活動の実際

(1) 学習に取り組む生徒の姿

図書館を利用し発表用資料と発表原稿をつくらせた。事前に調べたものを用いてどのようにすれば「分かりやすく論理的に」伝わるかを考えながら取り組んでいた。意見に対する根拠が弱いと感じた生徒は、図書館の本を活用して調べていた。

発表は、各班趣向を凝らしたものとなった。「今からこういう話をします」というように発表の流れを先に言う班もあり、分かりやすくしようと工夫をしていた。一方、せっかく模造紙に書いたのに、発表時に黒板に貼っただけで活用できていない班もあり残念であった。「今昔物語集」と「羅生門」の違いを横に並べて項目ごとに比較していたが、違いを羅列するだけで、それらを関連させたまとめをしない班もあった。

指示棒などの小道具の準備や、ディスカッション形式などの発表形態の工夫が見られる等、全体的には積極的に取り組めたのではないかと考える。

(2) 「身に付けさせたい力」の実現状況と生徒の作品例

3クラス 24 班の発表から「身に付けさせたい力」を評価した結果は、A…5 班、B…17 班、C…2 班となった。

生徒の作品の概要を以下に示す。(二重線部：評価項目 波線部：指導項目)

選択したテーマ：果たして下人は善人なのか悪人なのか

発表形式：ディスカッション形式

生徒A：下人は、老婆の髪の毛を抜く行為を憎み、罰しようとした。悪を憎む人は、善人。

生徒B：悪いことをした人が本当に悪人なのか。命を大事にして生きることが当時は大切だったので、下人は善人。

生徒C：盗人になるなら、死んだ方がましというのは命を粗末にしているから悪人。引き剥ぎはいつの時代でも悪いこと。だから悪人。

まとめ：下人からすれば [=主観的にみれば] 「善」、客観的にみれば「悪」。羅生門に来る前に「善」となるよう努力すべきであった。 [3分45秒]

最初に善悪を定義していた。4人の発表者が4つの角度から根拠を考え、答えていた。全員が、定義→意見という順で述べていた。盗人になる前、後と分けて分析的に考察していた。最後に主観と客観に分けて新たな意見を提案していた。…評価A

選択したテーマ：果たして下人は善人なのか悪人なのか

発表形式：代表者が以下の主張を述べた。

人間は生まれたとき、善でも悪でもない。善と悪自体が分からず判断できないからだ。しかし、環境によって人は変わっていく。

下人は不誠実で暇を出された訳ではなく、社会情勢によるものでしかたがない。「あらゆる悪に対する反感」等の記述から善人であると判断できる。

しかし、その後、老婆との会話が下人を悪人にしてしまう。

まとめ：下人は善人だったが悪人になってしまった。

[3分20秒]

人間の善悪とはどのようなものなのかということから話し始め、下人に当てはめた。ただし、善悪の話と善人か悪人か意見を述べるころのつながりがもう少し意識できるとよかった。本文から、根拠とするとところを多く指摘している。…評価B

選択したテーマ：果たして下人は善人なのか悪人なのか

発表形式：班員全員で、以下の主張を述べた。

老婆は死骸から髪の毛を抜くという悪いことをしていた。だから老婆からものを捕ることは下人は悪いと思っていなかった。悪人ではない。

老婆を憎むのは自由だが、引き剥ぎはよくない。たとえ社会情勢がよくなくても。また、老婆の悪の対象は亡くなった人。下人の対象は生きた人。老婆の生きる権利を奪ったので下人は悪人。

まとめ：現代社会のルールからすれば悪人であるが、道徳的な点からいえば善人である。

[2分15秒]

全体的に根拠が少なく説得力に乏しい。根拠が主観的なところもあった。班員全員が話したが、順番の段取りができていなかった。…評価C

評価Cの班については、再度検討させ、推敲案を提出させた。

5 おわりに

生徒の「振り返りシート」には、次のような記述があった。

(1) 意見を話すときに大切なこと

- ・ 相手の目を見てはきはきと感情を込めて言うこと。意見は順序立ててより分かりやすくすること。
- ・ 根拠をしっかりとし、一貫性をもたせ意見をはっきりさせること。
- ・ 頭の中で話すことをきちんと理解し、フィードバックで補えるぐらい準備をしなければならない。
- ・ 伝えようとする。そうすれば自然と声が大きくなり感情もこもる。
- ・ ディスカッション風にして、聞き手に訴えかけるのもよいと思った。
- ・ 聞き手を念頭においた発表と聞き手の理解を助ける言葉を付け足すこと。

(2) 活動を通して気付いたこと

- ・ 善悪を本文の記述から判断することが楽しかった。
- ・ 自分の意見とは反対の考え方も「なるほど」と納得できたことがおもしろかった。
- ・ 「羅生門」は、人は本来善だが、環境によって急に悪になりうるということを教えてくれた。

- ・ 作者の思想や状況を知った上で小説を読むとおもしろいと思った。

振り返りシートの記述から、生徒は活動自体を楽しんでいたように思う。自分の意見を伝えるために相手の目を見て訴えかけるように話すことや話す内容をきちんと筋道を立てて理解しておくことの大切さにも気付いた。「聞き手のことを考えて理解を助ける言葉が必要だ」と聞き手側を想定したものもあり感心した。授業者から、話す順番も大切だということを更に伝えた。

また、今回の活動を通して、内容の理解が「かなり深まった」と118人中74名(62.7%)が答えた。「それなりに深まった」と合わせると118人中117人に上る。論理的に意見を伝えるためにはまず自らがしっかりと読み込み、その後、班員と話し合うことでより深い理解につながる。内容理解の重要性が分かったようである。

ただ、準備不足でリハーサルが思うようにできなかった班は、発表時間の4分も話せなかった。また、たくさん調べてきても調べた内容を述べただけで、意見を補強するものになっていない班もあった。振り返りシートには、うまくいかなかった反省とともに今後の学習への意欲が表われていた。

授業者自身の反省としては、リハーサルと本番との違いを評価したかったが、限られた時間でできなかった。

このような活動に今後も取り組み、論理的な思考力の育成に努めたい。

「羅生門」芥川龍之介 ワークシート

一年 () (組) () (班 班長)

発表のとき、意見や根拠がはっきりし、発表の構成がしっかりすると説得力が増すね。

教科書以外に書籍等に当たって調べること。参考文献も明示する。
感想ではなく、「私の意見は〇〇だ」というように意見を述べよう。

問 次の中から一つを選び、自分の考えをもち、意見を述べてみよう(選んだ番号に〇をつける)。

- ① 『今昔物語集』と筋書きの違いが見られるのはなぜか。
…「羅生門」との相違から作者の意図に対して、意見を述べよう
- ② 果たして下人は善人なのか悪人なのか。
…下人は善人なのか、悪人なのか、意見を述べよう
- ③ 「羅生門」の主題は何だと考えるか。
…作品が書かれた時代背景等を例にして、「羅生門」について意見を述べよう
- ④ ()
…自分で問いを立てて「羅生門」についての意見を述べよう
左の内容を参考にしてもよい。

羅生門にまつわる他の話 「羅生門」の表現 『方丈記』に見られる災害

●意見を述べるために、何を調べるか。どのような情報が必要か。(誰か何を調べるか明記。)

() () () () ()
() () () () ()
() () () () ()
() () () () ()
() () () () ()

●意見を述べるための構成(話の順番)を整理しよう。

●意見を分かりやすく伝えるために、模造紙にどのようなことをまとめるか。

「羅生門」 ルーブリック

「自分の意見をもち」

意見の論理性	A	B	C
根拠の客観性	意見の根拠に客観性があり、かつ意見と根拠につながりがある。	意見の根拠が明確に示されている。	意見の根拠に客観性がない。
「羅生門」との関連性	羅生門に関連させて、テーマに対する意見を述べている。		述べた意見が、羅生門に関連していない。

「意見をわかりやすく伝える」

話し方	A	B	C
模造紙のまとめ方	まとめ方に工夫があって見やすく、発表に適切に活用している。	まとめ方に工夫があり、発表に活用されている。	まとめ方に工夫が見られない。または活用されていない。
	適度な音量や速度であり、聞き取りやすい。	適度な音量や速度である。	音量や速度が適切でなく、聞き取りにくい。

A 十分満足できる

B 概ね満足できる

C 努力を要する

「羅生門」 発表メモ

一年（ ）組（ ）班

（ ）番

（ ）番 氏名（ ）

（ ）番

（ ）番 氏名（ ）

（ ）番 氏名（ ）

（ ）番

（ ）番 氏名（ ）

1 発表時間 4分

2 発表形態・方法 (模造紙)

3 発表タイトル

4 発表のアピールポイント

5 役割分担 (役割と担当を決める)

班長「計画や指示等全体のとりまとめ」()

発表者 ()

模造紙作製 () ()

発表原稿作成 () ()

調べ学習(全員)

「羅生門」 発表原稿

発表タイトル

一年（ ）組（ ）班

（ ）番
（ ）番
（ ）番
（ ）番
（ ）番
氏名
（ ）
氏名
（ ）
氏名
（ ）
氏名
（ ）
氏名
（ ）

（ ）
（ ）
（ ）
（ ）

時間	0分
内容等	4分
準備するもの	

「羅生門」芥川龍之介 リハーサル評価表

一年 () (組) () (番 氏名) ()

●ループリックを参考に、リハーサルがA・B・Cのどれにあたるか評価し、○印をつけてみよう。
 「自分の意見をもつ」

意見の論理性	A	B	C
根拠の客観性	自分の意見を、話の展開を工夫するなど論理的に述べている。	自分の意見を、論理的に述べている。	自分の意見を、論理的に述べることができない。
「羅生門」との関連性	意見の根拠に客観性があり、かつ意見と根拠につながりがある。	意見の根拠が明確に示されている。	意見の根拠に客観性がない。
	羅生門に関連させて、テーマに対する意見を述べている。		述べた意見が、羅生門に関連していない。

「意見をわかりやすく伝える」

	A	B	C
話し方	適度な音量や速度であり、聞き取りやすい。	適度な音量や速度である。	音量や速度が適切でなく、聞き取りにくい。
模造紙のまとめ方	まとめ方に工夫があって見やすく、発表に適切に活用している。	まとめ方に工夫がある。	まとめ方に工夫が見られない。または活用されていない。

A 十分満足できる B 概ね満足できる C 努力を要する

●振り返り

評価してみてどうだったか。発表を更によくなる目標で、印象的なことや改善点等をメモしておこう。

「羅生門」芥川龍之介 各班評価表

一年（ ）組（ ）班

● ルーブリックを参考に、各班の発表が次の五項目のA・B・Cのどれにあたるかそれぞれ評価し、合計点を出してみよう。

A 十分満足できる(2点) B 概ね満足できる(1点) C 努力を要する(0点)

意見の論理性	一班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	二班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	三班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	四班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	五班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	六班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	七班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

意見の論理性	八班	A	B	C	合計点 点 / 10点満点
根拠の客観性					
「羅生門」との関連性					
話し方					
模造紙のまとめ方					

「羅生門」芥川龍之介 振り返りシート

一年 () (組) () (番氏名)

①教材について興味もてたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

②グループの活動に積極的に関わられたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

③意見の論理性を意識することができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

④根拠の客観性を意識することができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

⑤「羅生門」との関連性を意識することができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

⑥話し方を意識することができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

⑦模造紙のまとめ方を意識することができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

⑧自分の意見を分かりやすく伝えることができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

⑨聞き方を意識することができたか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

⑩発表前に比べ、内容理解は深まったか。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|

●意見を話すときに大切なことは何だときえるか。また、活動を通して気付いたことや感想を書こう。